

決算審査は111質疑で審議

各会計決算の議決状況

会計項目		歳入（収入）	歳出（支出）	議決状況	
一般会計		103億878万円	95億9434万円	全員賛成により認定	
特別会計	十王財産区	352万円	47万円		
	下水道	5億8126万円	5億6429万円		
	国民健康保険	14億6871万円	14億5488万円		
	農業集落排水	1億4753万円	1億4302万円		
	介護保険	16億9141万円	16億2436万円		
	後期高齢者医療	1億5096万円	1億4904万円		
事業会計	水道	収益的	3億2628万円		2億7754万円
		資本的	1981万円		4138万円
	病院	収益的	10億3503万円		11億1484万円
		資本的	1億3230万円		2億2937万円
	訪問看護ステーション	収益的	1968万円		2382万円
		資本的	0円		0円
合計		158億8527万円	154億2546万円		

（万円未満は端数を調整しています。）

※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。

令和元年度の決算を審査

議会で可決した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、住民に代わって審査しました。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

6ページから関連記事

令和元年度に行った主な投資的事業

（万円未満は端数を調整しています。）

- | | | | |
|----------------|-----------|----------------|----------|
| ・まちづくり複合施設整備事業 | 11億5743万円 | ・林業成長産業化総合対策事業 | 1億3547万円 |
| ・老人福祉施設整備事業 | 4億8753万円 | ・橋梁安全対策事業 | 4854万円 |
| ・地域交流商業施設整備事業 | 2億8392万円 | ・圧雪車整備事業 | 3543万円 |
| ・小中学校冷房設備整備事業 | 1億9998万円 | ・調理場設備整備事業 | 2090万円 |

賛成
討論

町民の声を傾聴せよ



菅原 俊一 議員

歳入を見ると、町税より交付税などへの依存度が高く脆弱な財政状況が続いている。今後も税収の減少が懸念されるが有利な財源を確保して財政を支えていく必要がある。

施策別には、現代の生活に即した母子手帳アプリの導入や、中学校への冷房設備の整備、ALTの増員、若者に対する住宅施策など

を評価する。半面、遅々として進まない六次産業化事業や森林境界明確化など課題は多い。

少子高齢化や、新型コロナウイルス感染症の影響で町政の取り扱いは難しくなることが予想されるが、町民の声に耳を傾け尽力いただくことを願う賛成討論とする。